

平成31年度 徳島県立脇町高等学校 学校評価 総括評価表

重点目標	課題	評価指標と活動計画	
1 学校と家庭が連携を深めるために、主体的に学習する態度と確かな学力を育成する。	(1) 計画的、効率的な授業の展開	評価指標	1 「主体的で計画的な学習ができている」生徒の肯定的評価70%以上 「シラバスを効果的に活用し、計画的な学習指導ができている」 教職員の肯定的評価70%以上
			2 「プリントや補助教材、IT機器などを用いて効果的な授業に努めている」教職員の肯定的評価95%以上
		活動計画	1 シラバスや手帳、面談、集会などを効果的に活用し、計画的な学習スタイルを確立させる。
			2 教材研究時間を確保し、各教科でプリントや補助教材の共有を図る。
	(2) 指導方法の工夫・改善	評価指標	1 「授業力向上に、授業公開・参観授業を役立てることができた」教職員の肯定的評価90%以上
			2 「指導方法や内容の精選、教材の共有などについて、教科内での連携を密に行っている」教職員の肯定的評価90%以上
		活動計画	1 授業研究週間を年2回（各2週間）設けるとともに、協働的問題解決型の授業公開を全教職員が行う。
			2 各教科で教科会や授業担当者打ち合わせを適宜開催し、学習指導方法の工夫や改善について検討する。
	(3) 学習習慣の確立	評価指標	1 「週末課題に意欲的に取り組んだ」生徒の肯定的評価75%以上
			2 「確認テスト・小テストに向けて学習に取り組んだ」生徒の肯定的評価75%以上
		活動計画	1 予習・復習を督促し、週末課題を活用することで生徒の学習習慣の確立を図る。
			2 確認テストや小テストを通して基本事項の定着を図り、主体的な学習に結び付ける。
	(4) 目的意識を持った学習態度の育成	評価指標	1 「定期テスト・実力テスト・校外模試に向けて計画的に学習している」生徒の肯定的評価75%以上
			2 「定期テスト・実力テスト・校外模試の反省・復習を行っている」生徒の肯定的評価70%以上
		活動計画	1 定期テスト・実力テスト・校外模試に向けて、主体的・計画的に学習させ、学力の向上と進路目標の実現に向けて努力させる。
			2 定期テスト・実力テスト・校外模試の結果を検証し、授業や個別面談等で指導する。
	(5) 家庭学習の充実	評価指標	1 全生徒の年間平均家庭学習時間2.8時間以上。1年生2.7時間以上、2年生2.8時間以上、3年生3.5時間以上。
			2 家庭学習時間調査において、学習時間が1時間未満の生徒の割合を、4%以下にする。
		活動計画	1 家庭学習時間調査を通して、家庭における学習状況を把握し、指導に活用することで学習習慣を確立させる。
			2 学年集会等を利用して学習の意義や具体的な学習方法について指導し、家庭での学習習慣の必要性を理解させる。
	(6) 興味・関心を高める教育	評価指標	1 「生徒の興味関心を高める教材の研究や授業の工夫・改善を積極的に行った」教職員の肯定的評価90%以上 「興味・関心を持って授業に意欲的に取り組んだ」生徒の肯定的評価80%以上
2 「SSH事業の各種活動に参加してよかった」生徒の肯定的評価80%以上			
活動計画		1 文献や書物に接する機会を増やし、話題に富んだ授業を行うなど、生徒の興味・関心を高める工夫がなされた、わかりやすい授業を行う。	
		2 魅力あるSSH事業を展開し、知的好奇心を向上させる。	
(7) 家庭との連携	評価指標	1 「保護者のPTA総会・学年部会の参加者数」保護者参加者数の割合50%以上	
		2 「ホームページは、学校の活動状況等を理解するのに役立っている」保護者の肯定的評価70%以上	
	活動計画	1 PTA総会や学年部会への積極的な参加を促す。また、各学年の保護者に応じた情報提供ができるよう学年部会の内容等を充実させる。	
		2 ホームページの更新を年間200回以上実施する。	

2	高い志をもち、現に向けて努力し、将来のリーダーとしての育成を図る。	(1)	望ましい職業観・早期の進路意識の育成	評価指標	1	「小論文・講演会・SSHの諸活動を脇高手帳に記録し、進路意識を高めるよう努力した」生徒の肯定的評価70%以上 「授業やホームルーム活動を通して、生徒の進路意識の向上に努めた」教員の肯定的評価90%以上		
					2	「SSH活動は大学進学後の志望分野探しに役立った」生徒の肯定的評価70%以上		
				活動計画	1	小論文・探究活動・講演会・W-ing/SW-ingプランの活動に積極的かつ意欲的に取り組ませるとともに、進路を考える機会となるよう指導する。授業やホームルーム活動の中で、生徒の進路意識を向上させるよう働きかける。		
					2	SSH活動への参加を将来の志望分野探しに役立たせる。		
				(2)	個々の希望や適性に合った多様な進路指導	評価指標	1	「先生は面談等を通じて、進路についてよく指導してくれる」生徒の肯定的評価85%以上 「教員は個人面談などを通して、個々の生徒に応じた丁寧な進路指導をしている」保護者の肯定的評価85%以上
							2	「『道標』をはじめとする各種の進路情報は充実している」生徒・保護者の肯定的評価80%以上
		活動計画	1			定期的な個別面談や三者面談を実施するなど、きめ細やかな進路指導を行う。		
			2			高大接続改革の情報を含め、必要な進路情報を生徒・保護者に分かりやすく提供するとともに、『道標』の内容を充実させる。		
		(3)	生徒保護者が希望する進路目標の達成	評価指標	1	生徒・保護者から希望の高い国公立大学への合格者数が、在籍生徒数の50%以上		
					2	「部活動顧問は、生徒の学習状況を考慮してバランスのとれた活動時間を設定している」生徒・保護者の肯定的評価80%以上		
				活動計画	1	日常の取り組みを学習成績に反映させ、丁寧な進路指導を行うことで個々の進路実現に結びつける。		
					2	学習と課外活動とのバランスを取りながら、生徒の自己実現に向けた指導を行う。		
		(4)	将来、社会において活躍しうる協高生の育成	評価指標	1	「学校祭や球技大会などの学校行事は、生徒会が中心となり活発に活動できている」生徒の肯定的評価80%以上		
					2	「服装・言葉遣い・時間厳守を心がけた生活をしている」生徒の肯定的評価90%以上		
				活動計画	1	学校祭や球技大会などの学校行事を、生徒会主体で積極的に運営し、協働意識を高め、社会性を育てる。		
					2	身だしなみについて各クラス・各学年・学校全体で継続的な指導を行う。また、朝のあいさつ運動を毎月実施する。		
		(5)	将来、社会に貢献しようとする人材の育成	評価指標	1	「ISO清掃活動等、各種ボランティア活動に積極的に参加している」生徒の肯定的評価50%以上		
					2	「修学旅行の自主研修に積極的に取り組み、社会への関心が高まった」生徒の割合80%以上		
				活動計画	1	ボランティア活動への積極的な参加を呼びかけ、社会貢献への意識を高める。		
					2	修学旅行の自主研修「企業・官公庁等訪問」やその事前研究、事後発表を充実させ、社会への関心を高める。		
		(6)	グローバル化に対応できる人材の育成	評価指標	1	「GTECや英検の受検、ALTとの授業に主体的に取り組んだ」生徒の肯定的評価60%以上		
					2	「国際社会の様々な問題に興味・関心を持ち、書籍・インターネット等を利用して調べている」生徒の割合が50%以上		
				活動計画	1	生徒の英語学習への意欲を高め、GTECや英検の受検をすすめる。国際理解教育の充実をはかり、コミュニケーション能力向上のためにリスニングやスピーキングテストを取り入れる。		
					2	書籍・インターネット等を活用し、異文化に関する知識と正しい認識を持たせるとともに、グローバル化に柔軟に対応できる能力を育成する。		

自己有用感 や自己肯定 感を育み、 仲間と協力 できる豊かな 心を公共心 と社会性を 備え、たく ましく生徒 を育成する。	(1)	環境美化・防災に対する意識の向上	評価指標	1	「清掃活動に積極的に取り組んでいる」生徒の肯定的評価80%以上
				2	「防災訓練に、関心を持って積極的に参加している」生徒の肯定的評価75%以上
			活動計画	1	快適な環境で学習できるよう、清掃活動やゴミの分別に積極的に取り組ませる。
				2	高校生防災士を活用して、参加体験型訓練など体験を重視した活動を取り入れ、防災に対する関心を高め、家庭でも学校でも積極的に行動できるよう指導する。
	(2)	集団や社会の一員として協力	評価指標	1	「ホームルーム活動や部活動を通して、好ましい人間関係ができています」生徒の肯定的評価80%以上
				2	授業や小論文・人口減少社会などの探究活動・講演会を通じ、社会的問題を主体的に考える意識が高まった」生徒の肯定的評価75%以上
			活動計画	1	ホームルーム活動や部活動を通して、集団の中での役割や立場を理解し、仲間と協力して目標に向かって努力できる生徒を育成する。
				2	主権者教育年間計画表に従い、主権者意識を高めるための授業、ホームルーム活動、総合的な学習の時間、学校行事を実施する。
	(3)	基本的な生活習慣の育成、安全教育の推進	評価指標	1	「交通安全・交通マナーについて、日ごろから十分意識し、守っている」生徒の肯定的評価90%以上 交通事故等を昨年度より減少させる。
				2	「学校では携帯電話やスマートフォンの利用時間を守っている」生徒の肯定的評価90%以上 「家庭では携帯電話やスマートフォンの利用について何らかのルールを設け、守っている」生徒の肯定的評価90%以上
			活動計画	1	バイクの安全運転実技講習会を開き、車体検査を各学期に行う。また、登下校指導を毎月行うなど、交通安全教育を徹底する。
				2	個人面談や家庭及び関係機関との連携を行い、情報モラルを身につけさせるとともに、携帯電話やスマートフォン等の利用ルールを守らせる。
	(4)	保健指導の充実	評価指標	1	「保健だよりの発行」年間10回以上
				2	「緊急時に救急措置(AEDを含む)をすることができる」教職員100%
			活動計画	1	時節や生徒の生活状況に応じて保健だよりを定期的・臨時的に発行するなど、効果的な保健指導を行う。
				2	教職員に加え部活動生徒への救急法講習会を実施するなど、校内救急体制の充実に努める。教職員対象救急法講習会(年1回実施)
	(5)	教育相談及び特別支援教育の充実	評価指標	1	「悩みや不安を親身に聞いてくれる先生や友だちがいる」生徒の肯定的評価85%以上 「先生は保護者や子どもの相談に誠実に対応してくれている」保護者肯定的評価85%以上「生徒や保護者の相談に、誠実に対応できている」教職員の肯定的評価90%以上
				2	「生徒が安心して過ごせる教室や部活動の環境整備や授業づくりに努め、組織として迅速かつ臨機応変に対応できる」教職員の肯定的評価85%以上
			活動計画	1	悩みや不安など、様々な困り感を抱えていながらも言い出せない生徒がいることを常に意識し、生徒が相談しやすい環境づくりと誠実な対応に努める。
				2	担任をはじめ教科担任や部活動顧問、関係機関とも連携し、生徒が安心して学校生活を送れるよう工夫し、組織として、迅速かつ臨機応変な対応に努める。
(6)	人権教育の推進	評価指標	1	「人権問題について学んだことを、日常生活に活かそうとしている」生徒の肯定的評価80%以上 「子どもが学校で人権問題について学んだことを、家庭で話し合う機会がある」保護者の肯定的評価40%以上	
			2	「人権学習ホームルーム活動は充実している」生徒の肯定的評価85%以上 「すべての教育活動の中で、人権に配慮した指導ができています」教職員の肯定的評価90%以上	
		活動計画	1	人権問題をより身近なものとして捉え、実践の態度につなげるために、人権委員が主体となり「協同人権の日」のテーマ設定や資料づくりを行う。また、その日のテーマを家庭でも共有し、広がりある人権教育に結びつける。	
			2	生徒の実態に合わせてホームルーム活動で扱うテーマを再構成するとともに、各学年で指導案や資料を十分に検討し、生徒の主体的な活動を積極的に取り入れる。また、全学年で学年一斉の人権学習ホームルーム活動を年間1回実施する。これらの活動を柱に、すべての教育活動の中で人権に配慮した指導の実現を図る。	
(7)	感性豊かで、調和のとれた人間性の育成	評価指標	1	「学校行事・修学旅行・文化祭等の学校行事を通して、芸術や文化活動に積極的に取り組んだ」生徒の肯定的評価80%以上	
			2	「普段から読書に親しんだり、朝のコラムや新聞を読むように心がけている」生徒の肯定的評価60%以上 図書貸出し数・入館者数の増加	
		活動計画	1	学校行事・修学旅行・文化祭等の活動の中で芸術や文化に触れる機会を設け、芸術・文化について理解を深めるとともに、豊かな情操を養う。	
			2	読書推進週間を設け、図書館だよりの充実やコラムの継続及び読書の推進を図る。	